

第19回 宮城県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

第16回 宮城県危機管理対策本部会議

議事録

日時：令和3年1月23日（土）午後1時から

場所：行政庁舎4階 特別会議室

（危機管理監）

ただいまから、第19回宮城県新型コロナウイルス感染症対策本部会議及び第16回宮城県危機管理対策本部会議を開催します。

議事進行を本部長である村井知事にお願いいたします。

（本部長：知事）

それでは、「1 新型コロナウイルス感染症患者発生状況等について」、保健福祉部から説明願います。

< 資料1について説明 >

（本部長：知事）

ただいまの部長の説明によりますと、宮城県は現在ステージ3に移行したと判断すべきだということではありますが、宮城県は政府の移行指標を参考にしながら、専門家の先生方のご意見を参考に判断をすることにしています。本日は、4名の先生に出席をいただいております。賀来先生、富永先生、宮城県・仙台市の医師会長にお越しいただいておりますけれども、ステージ3に移行したという判断でよろしいでしょうか。（専門家の先生同意）

それでは、現在、ステージ3になったという判断を行いたいと思います。これで、皆さんご異議ありませんでしょうか。（異議なし）

次に、「2 本県の営業時間短縮要請の効果検証等について」のうち、「(1) 感染状況の分析について」、保健福祉部から説明願います。

（保健福祉部長）

< 資料2について説明 >

（本部長：知事）

ただいまの説明について、質問、ご意見はありますか。（質問なし）

次に、「(2) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び営業時間短縮の協力要請に係る街頭呼びかけ等について」、環境生活部から説明願います。

(環境生活部長)

< 資料3について説明 >

(本部長：知事)

ただいまの説明について、質問はありますか。(質問なし)

次に、「3 本県における新型コロナウイルス感染症対策について」のうち、「(1) 営業時間短縮の協力要請について」、保健福祉部から説明願います。

(保健福祉部長)

< 資料4について説明 >

続いて、経済商工観光部から説明願います。

(経済商工観光部長)

< 資料5について説明 >

それでは、営業時間短縮要請ですが、検証結果を踏まえて引き続きエリアを拡大して、協力要請することについて、宮城県感染症対策委員長であります賀来先生からご意見を頂戴したいと思います。

(賀来感染症対策委員長)

宮城県の中で、仙台市の位置づけについては最も人口が多く、人流、つまり、人の交流も最も多い都市であります。その中で、ある地域を限ってこれまでやってきたわけですが、これを全域に拡大することで、より人流の抑制を図っていく効果があると思います。今回、宮城県というより、まず、コアとなっている仙台市全域に拡げていく判断は、私は非常に適切ではないかと思っております。

(本部長：知事)

ありがとうございます。保健福祉部長、専門家のご意見で他に何か確認しているものがあれば紹介してください。

(保健福祉部長)

あらかじめお二人の専門家の方の御意見を伺いましたので、紹介させていただきます。

まず、東北大学の押谷教授からであります。

同じような人口規模で、12月中旬から積極的な時短要請をしてきた広島市では、年末年始の増加もほとんどなく、流行は落ち着いてきていることは参考になること。

今の宮城県の疫学状況、特に、リンク不明、感染経路不明と言うことですが、リンク不明が増えていることを考えると、より一層の対策が必要だと考えられること。

仙台市全域に加え、長野県が実施しているような感染者の多い市町村について時短要請をすることも今後考慮すべきであること。

広島県や長野県のように、時短要請だけではなく一般的な感染対策を呼び掛けていくことも必要であること。といった御意見をいただいております。

もう一方おりまして、東北大学の神垣助教からは、本県の状況については、12月から1月にかけて、一定のレベルでの感染で推移していること。

そのため、特に、仙台医療圏で医療負担が強くなっていること。

時短要請の前後で分けると、時短要請後の仙台市の患者増加率が低下しており、明らかな理由は不明であるが、営業時間短縮要請の効果も一因ではないかと考えていること。

仙台市では、1月に入って疫学リンク不明例が減少に転じているが、依然高い水準である。また、20歳代から40歳代の占有率が増加していること。

患者発生をさらに抑制し、医療機関の負担を軽減するためには、飲食店への介入が必要であること、とのご意見をいただいておりますので、ご紹介いたします。

(本部長：知事)

それでは、次に佐藤宮城県医師会長、ご意見を賜るようお願いいたします。

(佐藤宮城県医師会長)

今回の時短要請についての期間と圏域の拡大については、知事と市長におかれましては、本当に苦渋の決断かと思われますけれども、同時になんとしても最悪の事態は避けたいという強い思いが込められていると思います。私たちも是非、これを協力して、感染拡大防止に努めたいと思います。

(本部長：知事)

ありがとうございます。それでは、次に、富永医療調整本部長、ご意見でございますでしょうか。

(富永医療調整本部長)

患者さんを受ける病床、重症病床も含めてですが、本当にいっぱいいっぱいですので、このような形で患者さんが減れば良いと思いますので、賛同いたします。

(本部長：知事)

ありがとうございます。次に、安藤仙台市医師会長、ご意見ございますでしょうか。

(安藤仙台市医師会長)

仙台市の新規感染者数は少しずつ減っているようには見えますが、まだまだ辛い。医療に対する影響というのは、少し遅れて出てきますので、今、ここでしっかりとした対策、今日お示しいただいたような要請を実行していただいて、効果が出て仙台市民の方々が安心して過ごせるようになることが一番ですので、賛同いたします。

(本部長：知事)

ありがとうございます。エリアが仙台市内ということでありますので、仙台市としては、いかがでしょうか。會田新型コロナウイルス感染症対策調整担当局長、お願いいたします。

(仙台市：會田局長)

効果の検証のご説明のあと、専門家の方々のご意見もいただきましたとおり、この状況をなんとしても好転させていくと、そのために市内全域ということもやむを得ない措置であると、そのように認識しているところでございます。

(本部長：知事)

ありがとうございます。ただいま、皆様からもご同意をいただきましたので、資料4のとおり、対象区域を拡大して営業時間短縮要請を延長することとし、また、資料5のとおり、協力金の内容で決定いたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。(異議なし)

今回、エリアを拡大しての要請となりますけれども、関係者への周知についてはどうなりますでしょうか。環境生活部長、説明してください。

(環境生活部長)

エリアを拡大しての要請で関係機関への周知ということですが、この本部会議で決定した内容と御協力のお願につきましても、各生活衛生同業組合、社交飲食業、あるいは飲食業を始めとする組合がございますけれども、そういった生活衛生同業組合と、宮城県カラオケスタジオ防犯協会にしっかりお知らせしまして、会員に対しての周知等をお願いすることとしております。

(本部長：知事)

しっかりよろしく申し上げます。保健福祉部長、どうですか。

(保健福祉部長)

事業者への周知ですが、食品衛生法の営業許可を受けている仙台市内の約1万店舗に対して、知事と仙台市長の連名で、営業時間短縮への協力のお願いと協力金のお知らせの文書を1月25日に発送することといたします。

また、仙台市と協力して新聞広告の掲載による周知を行うことで、現在、調整を進めております。

(本部長：知事)

しっかりと対応してください。仙台市もご協力よろしく願いいたします。

この件につきましては以上ですけれども、経済商工観光部長、一点、私から指示をしたいと思えます。協力金については、仙台市と連携して早期に支給に努めると言うことですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の長期化に伴いまして、要請対象事業者、仙台市内の事業者だけではなくて、県内の様々な事業者が厳しい状況に追い込まれていると言う声が届いております。県議会からもそういう声が届いておりますので、経済商工観光部で全県を対象とした事業者支援策を、ぜひ検討していただきたい。早めにまとめていただきたいと思えますので、よろしく願いいたします。

(経済商工観光部長)

わかりました。

(本部長：知事)

次に、「4 緊急に取り組むべき事項について」のうち、「(1) 若年層・学校等を対象とした啓発について」であります。これにつきましては、前回の会見でも佐藤宮城県医師会長から、ご指摘いただいた重要な点であります。感染を拡げる若い人たちに対する対策、これについて、総務部から説明していただきたいと思えます。

(総務部長)

< 資料6について説明 >

(本部長：知事)

特に学校を通じて、積極周知を図ると。

続いて、学校での感染者が増え、クラスターも発生しております。学校現場での対応について、教育庁から説明してください。

(教育長)

< 資料7について説明 >

(本部長：知事)

徹底よろしく申し上げます。利府高校，石巻高校ですね。しっかりして行ってください。
ただいまの説明について，質問，ご意見はよろしいですか。(質問なし)

(本部長：知事)

続いて，「(2) 受入病床の確保に向けた緊急の取組みについて」，保健福祉部から説明してください。

(保健福祉部長)

< 資料8について説明 >

(本部長：知事)

ただいまの説明について，質問，ご意見はございますか。よろしいですね。

今週月曜日に，宮城県新型コロナウイルス感染症医療調整本部の富永本部長に，病床確保に向けたご協力をお願いしたところではありますが，病床確保が喫緊の課題であり，重症病床の確保が重要となっております。県としても，全力で取り組んでまいりますので，富永本部長，また，両医師会長には，引き続き，よろしくお願い申し上げます。

続いて，「(3) 新型コロナウイルス感染症における組織体制の強化について」，保健福祉部長，説明してください。

(保健福祉部長)

< 資料9について説明 >

(本部長：知事)

ただいまの説明について，ご質問，ご意見よろしいですね。(質問なし)

全庁挙げて対応したいと思いますので，皆さん協力をよろしくお願いいたします。

次に，「5 ワクチン接種に向けた準備状況について」，保健福祉部長，説明してください。

(保健福祉部長)

< 資料10について説明 >

(本部長：知事)

ご質問，ご意見よろしいですね。(質問なし)

次に、「6 「ストップ!コロナ差別」共同宣言」について、保健福祉部長、説明してください。

(保健福祉部長)

< 資料11について説明 >

(本部長：知事)

ご質問、ご意見よろしいですね。

差別は絶対にあってはならないことでもありますので、各部局におきましても、しっかりと取り組んでいただきたいと思います。

次に、「7 G o T o イートキャンペーン事業の取扱い」について、経済商工観光部長、説明してください。

(経済商工観光部長)

< 資料12について説明 >

(本部長：知事)

ただいまの説明について、質問、よろしいですね。

(本部長：知事)

その他、皆さんから何かございますか。よろしいですか。それでは、ご出席いただいております先生方のご意見を賜りたいと思います。佐藤宮城県医師会長よろしくお願いします。

(佐藤宮城県医師会長)

今回の時短要請の拡大、あるいは今回提示されました若い世代への啓発活動なども含めまして、あらゆる手段で感染拡大防止に共に取り組みたいと思っております。それからもう一つ、技術的な問題ですけれども、調整本部、これは県と仙台市合同で設置され、感染者の施設への振り分けなど、非常に機動的に行っておりますけれども、ただ、調整中という方が非常に多くなっており、改善も必要ではないかと思えます。もし仮に、人員が不足しているならば、他の部署からの応援を、先ほどもありましたけれども、強力に進めてほしいと思えます。こういう振り分けや患者さんの日々の健康チェック、これは、本来は保健師さんがやるのが一番ですけれども、今は非常事態でございますので、事務方の方でもチェックリストを作ることができます。事実、そのように行っている保健所もございます。調整中に死亡するなどという他県のような例があってははいけません。是非よろしくお願いします。それから、先程

聞いたんですけれども、濃厚接触者の方が PCR 検査を受けるまでに約 1 週間待っているという現状もあるそうでございますけれども、これも是非ですね、どこで根詰まりしているのかを検討して、改善していただきたいというふうに思います。以上です。

(本部長：知事)

次に、富永医療調整本部長 よろしくお願いたします。

(富永医療調整本部長)

私は知事の方から重症病床の方を確保するようにと仰せつかっておりますが、現在、新規感染者数は一見減っているように見えますが、必ずしも、高止まりしております、我々医療従事者にとっては、非常にタイトな状況になっていきますけど、病床、一般、中等症の病床も重症病床もかなり苦労して確保しているのが現状でございますので、一層県民の皆様には、感染に気を付けていただければと思うんですが、もう一つはその別途の観点で、どうしても入院していた患者さんがある程度良くなって別の病院に移るといった時に、やはり後方病院としては、コロナの感染を危惧して、どうしてもスムーズにいかないという面がございまして、この点に関しましても、県から後方の病院に当たっていただいて、御協力を求めているところで、できるだけ一つのベッドの回転を良くするといいますか、我々も急性期の患者さんを引き受けたら、良くなったら、後方の病院に協力いただいて、できるだけ早くその患者さんに別な病院に移っていただくという形で対応していきたいと思っておりますので、その点に関しましても様々な病院と今、連携を深めているところです。以上です。

(本部長：知事)

ありがとうございます。しっかり対応したいと思っております。次に、安藤仙台市医師会長 お願いたします。

(安藤仙台市医師会長)

仙台市医師会といたしましては、今、仙台市の保健所が業務が多くなっていて、その他方、患者さんが病院に入れない、宿泊療養に入れない、待機がおられる、PCR 検査も時間がかかっているということをなるべく協力していきたいということで、濃厚接触者の検査なども積極的に受け入れる、仙台市医師会で今、日曜日の PCR 検査を始めるということで、まもなく正式に公表できるようになりますということでございます。とにかく協力できることは全てやって、なんとか仙台の安全を取り戻したいと思っております。以上です。

(本部長：知事)

ありがとうございます。それでは次に、賀来感染症対策委員長 よろしくお願いたします。

す。

(賀来感染症対策委員長)

新型コロナウイルス感染症は、一つはコアといいますか、非常に感染が拡大する地域や場所があります。それが収まらない限り、そこからまたいろんなところに飛び火をしていきます。そういう意味では今回、時短要請を拡大することについては、非常に効果を期待したいと思います。もう一つは、感染症対策は総合的な対策ですので、先ほどお話のありました病床の確保、あるいは若い方への啓発活動、あるいは今回ワクチンが導入されますけれども、それに対しても幅広く、宮城県、仙台市、こういったところは強力なリーダーシップを持って、しっかりと対応していただきたいと思います。多くの、今、11都府県で緊急事態宣言が出ておりますが、これはもうレベル4の、ステージ4の段階での緊急事態宣言ということになります。宮城県の場合はステージ3というところで早く、より早く、そういったことを徹底していくということで、ステージ4にならないように、今が非常に重要な時期ですので、そういった意味からはできるだけ早くこのような会議が開かれて、ステージ3となった段階でより強い政策を打つということが非常に重要だと思っております。以上です。

(本部長：知事)

どうもありがとうございます。周知をしっかりとやってまいりたいと思います。最後に、全体を通して仙台市の會田局長 よろしくおねがいたします。

(仙台市 會田局長)

ただいまも、様々ご指摘をいただきましたとおり、やはり仙台市として、今の状況を少しでも改善して、感染の拡大の抑制、これに努めることが大事だと思っておりますので、引き続き、宮城県さんをはじめ、様々な方のご支援、ご協力をいただきながらできる限り対策に力を注いでまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(本部長：知事)

県も仙台市さんから要請あれば、できる限りの協力をしたいと思っておりますので、早めに遠慮なく、色々要請していただければと思います。

(仙台市 會田局長)

ありがとうございます。

(本部長：知事)

その他発言があれば、この機会に挙手お願いいたします。
よろしいですか。それでは以上で、議事を終了します。

(危機管理監)

以上で第19回宮城県新型コロナウイルス感染症対策本部会議、及び第16回宮城県危機管理対策本部会議を終了いたします。ご苦労様でした。